

平成 22 年 5 月

お客様各位

「地域密着型金融の取組み状況」
の公表について

江差信用金庫
理事長 渡邊捷美

私ども江差信用金庫は、金融庁公表の「中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針」に基づき、この度、平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月における「地域密着型金融の取組み状況」をとりまとめましたのでお知らせいたします。

この「地域密着型金融の取組み状況」は、当金庫の店頭に備え付けておりますほか、ホームページでもご覧いただけます。

なお、詳細については当金庫職員にお問い合わせください。

ホームページアドレス <http://www.e-shinkin.co.jp>



地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (1)創業・新事業支援
2. タイトル	・融資審査能力(「目利き」能力)の向上
3. 動機(経緯)	・取引先企業をサポートするため、融資審査能力(「目利き」能力)の向上について、地道に取組んでいかなければならない重要事項と捉えている。
4. 取組み内容	・業界で行なう研修会へ参加した。 ～北信協主催「目利き力養成セミナー」1回、1名。
5. 成果(効果)	【相手方にとっての評価】 ・研修会の開催等により創業・新事業に対する業界全体のレベルアップが図れたものと認識している。 【当金庫にとっての成果】 ・研修会への参加により、職員の「目利き力」は徐々に蓄積されているものと認識している。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 ・計画していた業界主催による研修会への参加が出来た。 【今後の課題】 ・引続き業界主催の研修会等の積極参加により、「目利き力」向上への継続的取組みが重要な課題と認識している。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成15年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (1)創業・新事業支援						
2. タイトル	・創業・新事業の成長段階に応じた適切な支援						
3. 動機(経緯)	・地元商工会や各関係機関との連携を強化し、成長段階に応じた資金繰りや売上等に係る経営改善指導および資金ニーズへの対応。						
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源等を活用した新事業展開や商品開発などの取組みを支援するための「北海道中小企業応援ファンド」に係る、道内各地域における農商工連携の取組を一層加速させるための「北海道農商工連携ファンド」に参画。 ・函館市が国の地域再生制度を活用した「地域雇用創造推進事業(パッケージ事業)」の導入に伴い、地域再生法に基づく「地域再生協議会」に参画。 ・北海道経済産業局の委託事業である「平成21年度地域力連携拠点事業」として、道南地域のものづくり企業を対象とした個別技術相談会を後援。 						
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道内各地域における農商工連携の取組み強化ができたと認識している。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道中小企業応援ファンド」の参画は前年度からの対応であり、成果は現在のところ特にありません。 						
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業への支援を目的とするファンドに参画したこと。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元商工会をはじめ、各関係機関との連携・協調を強化し態勢整備はしているものの地域柄創業・新事業の数は極端に少ないことが課題である。 						
7. 新規・継続	<table border="0"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;">新規取組み</td> <td style="padding: 0 10px;">・</td> <td style="padding: 2px;">継続取組み</td> <td style="padding: 0 10px;">(開始年度</td> <td style="padding: 2px;">平成</td> <td style="padding: 0 10px;">年度)</td> </tr> </table>	新規取組み	・	継続取組み	(開始年度	平成	年度)
新規取組み	・	継続取組み	(開始年度	平成	年度)		
8. 添付資料							
9. 備考							

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (2) 経営改善支援
2. タイトル	・取引先企業に対する支援機能の強化
3. 動機(経緯)	・企業経営者が抱える経営情報ニーズに対応するため、業界ネットワークや上部団体の情報等を活用し、経営に役立つ情報提供の必要性を認識しての取組み。
4. 取組み内容	・中小機構と連携した「第5回中小企業会計啓発・普及セミナー」を平成21年11月11～13日、函館・桧山・渡島の3地区で開催。 取組関連資料は、中小機構より提供された「不況に負けない経営力をつける(上手な資金のつくり方)」や「中小企業の会計31問31答」等を使用。
5. 成果(効果)	【相手方にとっての成果】 ・「経営にある程度役に立つ」「新しい情報が得られた」「研修参加により啓発された」等のアンケート結果を得た。 【当金庫にとっての成果】 ・総数114名(函館地区34名、桧山地区40名、渡島地区40名)の参加を得て、研修終了後の受講感想アンケート実施により、参加者の会計に対する意識などを知る機会となった。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 ・アンケートの結果、多くの参加者からセミナーの全体的な内容について、よかったとの一定の評価を得ている。 【今後の課題】 ・受講者の会計知識レベルにばらつきがあることから、講義内容のレベル調整に課題が残る。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成17年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (2) 経営改善支援
2. タイトル	・ 要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組み強化
3. 動機 (経緯)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域経済安定化のため取引先企業の業績維持・向上が不可欠な状況下にあることから、業績不振先に対して経営上の適切なアドバイス等、早期経営改善に向けた取組みが重要な課題となっている。 ・ 中小企業金融円滑化法に基づく中小企業者への安定資金供給、及び返済負担軽減等の貸付条件の変更への取組みが重要課題であると考えている。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成21年度経営改善支援のため支援対象先10先を抽出。 うち5件については、本部企業支援課主導のもと優先的に支援することとした。 ・ 優先支援先5先については、企業支援課により当該企業の代表者他経営陣と直接意見交換を定期的に行い、財務の改善事項の指導や、経営改善計画の進捗状況の検証や今後の対応策を協議した。 ・ その他営業店による支援対象先5先についても、随時検証と対応策について指導を行った。 ・ 経営改善計画(合実計画)策定のための積極的なアドバイス ～今年度経営改善計画策定先11先を計画。 ・ 中小企業金融円滑化法に基づく取扱実績 (平成21年12月4日から平成22年3月31日) ～中小企業からの相談受付債権数 76件、受付債権額 2,155百万円、 内実行 67件 1,853百万円、内審査中 7件 259百万円 内取下げ 2件 42百万円、内謝絶 0件。 ・ 金融円滑化の実効性確保と融資底辺拡大のため、土曜日営業による融資相談窓口業務を実施。 ～実施期間 平成22年1月16日から平成22年3月27日 計11回。 ～相談件数 14件、32百万円。
5. 成果 (効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者他経営スタッフ陣との面談による財務改善指導や、経営改善計画に対する進捗状況の検証・アドバイス等を継続実施したことで、経営改善に対する意識は確実に向上してきている。また、金融円滑化法に基づき安定した資金繰りが図られていると認識している。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな成果は未だ見えないが、財務内容に一部改善が見られるなど行く行くランクアップの期待が持てる成果も得られた。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営改善に対して継続した支援実施により、その成果は現れてきていると認識しているが依然後記の課題を有する。 ・ 中小企業金融円滑化法に基づく対応等についても真摯に行っていると認識している。

	<p>【今後の課題】</p> <p>①地域経済の衰退による経営環境の悪化 ②経営者の認識欠如 ③後継者不足 ④経営者の高齢化等の人材不足などもあり、経営改善の進捗遅延および顕著な成果を出せないという先もあることが課題となっている。</p> <p>・今後も引続き中小企業金融円滑化法に基づく対応や経営改善支援への取り組みが重要であると認識している。</p>
7. 新規・継続	<p>新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成 15 年度)</p>
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (2) 経営改善支援
2. タイトル	・健全債権化等の強化に関する実績の公表等
3. 動機(経緯)	・経営改善支援に対する実績を積極的に公表することでステークホルダーに対し、取組みの透明性と利用者の目を通じチェックを働かせてもらうことが必要と考えている。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健全債権化等の強化に関する実績等を2009年度版ディスクロージャー誌、およびホームページで公開した。 ・また、ディスクロージャー誌の主要取引先への配布や店頭への備付けにより健全債権化等の強化に関する実績等を公表した。 <p>【平成21年4月から平成22年3月までの取組み実績】</p> <p>経営改善支援取組先数 10先 うち債務者区分ランクアップ先 1先 債務者区分が変化しなかった先 9先</p>
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援に対する実績の把握が容易となっているものと認識している。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェック機能が発揮されていると認識している。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援先のランクアップ先も現れており、徐々に改善してきている。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も健全債権化等の強化に関する実績の公表等を、継続して積極的に行うことが重要と認識している。
7. 新規・継続	新規取組み ・ <u>継続取組み</u> (開始年度 平成16年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (3)事業再生支援
2. タイトル	・事業再生に向けた積極的取組み
3. 動機(経緯)	・中小零細企業の過剰債務の解消や社会ニーズの変化に対応した事業の再構築など、取引先企業の早期事業再生の重要性を認識し取組みした。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道中小企業再生支援協議会主催の「個別相談会」に参加し、情報交換を行った。(平成21年6月4日) ・北海道中小企業再生支援協議会主催の「事業サポートセミナー」に参加し、中小企業の現状と再生等について説明を受けた。(平成21年11月18日) ・融資審査能力の向上のための業界団体主催の研修会に参加した。 ～北信協主催「貸出審査能力養成講座」1回、1名 ・審査部主催による内部勉強会を開催した。 ～「平成21年度融資担当役席者会議」1回、20名。 ～「平成21年度融資担当者会議」3回、55名 ～「平成21年度自己査定勉強会」2回、66名 ・融資審査能力向上のための添削問題を作成し、融資担当者を対象に実施した。 ～21年4月～22年3月まで2回実施、受講者16名
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小零細企業先に対して、財務面の改善指導によりコスト削減の取組みや、財務問題点の解消の一助として成果があったと認識している。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加や内部勉強会開催・添削問題の提起により窓口担当者および渉外担当者の審査能力向上とともに改善指導の重要性を意識付けることになったと認識している。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価および今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前記のとおり徐々に取組み成果が向上してきており、今後も事業再生に係る問題点の早期発見および早期改善取組みに加え、関係機関との連携強化や、融資審査能力向上への更なる取組みが必要と認識している。
7. 新規・継続	新規取組み ・ <u>継続取組み</u> (開始年度 平成16年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (3)事業再生支援
2. タイトル	・再生支援実績に関する情報開示と再生ノウハウの共有化の推進
3. 動機(経緯)	・再生支援による成功事例、法的整理の活用事例等の具体性を持たせた形で情報開示することが再生ノウハウの共有化に繋がると考えています。
4. 取組み内容	・再生支援方針策等のノウハウ蓄積、情報交換のための業界主催の研究会に参加した。 ～北海道地区しんきん企業支援研究会、1回、1名参加。 (平成21年12月17日)
5. 成果(効果)	【相手方にとっての成果】 ・事業再生方針策等のノウハウ蓄積及び情報交換が出来ていると認識している。 【当金庫にとっての成果】 ・再生支援方針策等のノウハウ蓄積、情報交換のための業界主催の研究会への参加により、徐々にノウハウの蓄積がされてきている。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 ・再生支援方策等のノウハウが徐々に蓄積されてきている。 【今後の課題】 ・再生支援方針策等のノウハウの蓄積途上の段階にあることから、引き続き継続した取組みが必要課題。
7. 新規・継続	新規取組み ・ <u>継続取組み</u> (開始年度 平成16年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化 (4)事業承継支援
2. タイトル	・事業承継ノウハウの蓄積
3. 動機(経緯)	・後継者問題等含む事業継承課題は、地域活性化からも重要事項と位置付けている。
4. 取組み内容	・特記なし
5. 成果(効果)	【相手方にとっての成果】 ・現在のところ特になし。 【当金庫にとっての成果】 ・地域的なこともあり、企業等が少ない為、事業継承ノウハウ蓄積のための外部研修会等への参加や外部専門家との情報交換等が従来と同様少なく、成果は依然挙がっていない。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 ・事業承継支援については今後の重要課題の1つであると認識している。 【今後の課題】 ・ノウハウ蓄積手法等を含めた対応が必要と認識している。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成20年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 (1)不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組み
2. タイトル	・融資審査能力の向上への取組み強化
3. 動機(経緯)	・取引の規模にあった資金供給手法に徹するため、質の高い融資審査能力の向上が地域金融機関としての課題と考えている。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・融資審査能力の向上のための業界団体主催の研修会に参加した。 ～北信協主催「貸出審査能力養成講座」1回、1名。 ・審査部主催による内部勉強会を開催した。 ～「平成21年度融資担当役席者会議」1回、20名。 ～「平成21年度融資担当者会議」3回、55名。 ～「平成21年度自己査定勉強会」2回、66名。 ・融資審査能力向上のための添削問題を作成し、融資担当者を対象に実施した。 ～21年4月から22年3月まで2回実施、受講者16名。
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受講者にとって融資審査能力の習得、また各種情報交換ができていると認識している。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部勉強会等の開催により「融資審査能力」は徐々に蓄積されているものと認識している。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画していた業界主催による研修会の参加および融資審査能力向上に向けた内部勉強会の開催はすべて実施することが出来た。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も「融資審査能力」向上に向けた内部勉強会の開催や審査部による添削問題の提起、および業界団体主催の研修会等への継続的かつ積極的な取組みが必要と認識している。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (添削問題～開始年度 平成20年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 (1)不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組み
2. タイトル	・中小企業の資金調達手法の多様化等
3. 動機(経緯)	・取引先の規模にあった資金供給手法に徹するため、あらゆる資金供給の方法について検討、取組みしていく事が重要と考えている。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業の資金調達手法の多様化に向け、「担保・保証に過度に依存しない融資商品」に積極的に取組みし、取扱実績は下記のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> ～「ファースト応円談Ⅱ」47件、368百万円。 ～「緊急保証制度」131件、2,271百万円。 ～「たんぼぼ資金」6件、51百万円。 ・また動産・債権譲渡担保融資として <ul style="list-style-type: none"> ～「債権譲渡担保」10件、50百万円。
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担保、保証に過度に依存することなく、資金調達が可能となったと認識している。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総体的に相応の実績を上げる事ができたと認識している。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総体的に相応の実績を上げる事ができたと認識している。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品内容を検討するとともに、今後も顧客ニーズに合った商品を選択し、積極的に活用していく事が重要であると認識している。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成16年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底 (2)企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み
2. タイトル	・人材の育成
3. 動機(経緯)	・企業の将来性や技術力を的確に評価できる審査能力が必要との認識のもと、内部研修のほか、業界団体で行なう外部研修に積極的に参加し、人材育成に取り組んでいる。
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・業界団体で行なう各種研修会へ参加した。 ～北信協主催「目利き力養成講座」1回、1名。 ～北信協主催「貸出審査能力養成講座」1回、1名。 ・融資審査能力向上のための審査部主催による内部勉強会を開催した。 ～21年度 6回、延べ参加人数 141人。 ・融資審査能力向上のための添削問題を作成し、融資担当者を対象に実施した。 ～21年4月から22年3月まで2回実施、受講者 16名。
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の将来性や技術力等事業価値の意識付と資金有用との関連性を持たせることができるものと認識している。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会への参加や、内部勉強会の開催により、職員の「目利き力能力」「融資審査能力」は徐々に蓄積されているものと認識している。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画していた業界主催による研修会への参加や、融資審査能力向上に向けた内部勉強会の開催は全て実施する事ができた。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も人材育成のための業界団体主催の研修会への参加など融資審査能力向上に取り組んでいく事が重要であると認識している。 また融資審査能力向上に向けた内部勉強会については、融資キャリアに応じたきめ細やかな開催が必要と認識している。
7. 新規・継続	新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成16年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 (1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面的再生」への取組み
2. タイトル	・地域活性化につながる情報提供や調査力等を活かしたビジョン策定への支援
3. 動機(経緯)	・地域経済などの調査結果や経済情報誌等の情報を提供し、地域活性化に向けたビジョン策定を積極支援する取組み。
4. 取組み内容	・全信協「しんきんふれ愛ネット」へ商品情報の登録推進。 ・当金庫で作成している「営業地区内企業の景気動向調査」・「地区内経済概況」、また、経済情報誌「経営情報」等による各種経営情報の提供。
5. 成果(効果)	【相手方にとっての成果】 ・「しんきんふれ愛ネット」商品情報の今期登録は無かった。 ・各種情報については、取引先等への提供にとどまっており、具体的な効果の把握まで至っていない。 【当金庫にとっての成果】 ・「しんきんふれ愛ネット」商品情報の今期登録は無かった。 ・当金庫で作成した情報資料については、ホームページに一部リリースしており、そのアクセス状況や報道関係先による記事掲載の実態から一定の成果をあげている。
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 ・「しんきんふれ愛ネット」登録は、商品情報を全国発信できるメリットなどから登録者より一定の評価が得ている。 ・各種情報については、定期的かつ継続的に提供し一定の評価を得ている。 【今後の課題】 ・「しんきんふれ愛ネット」については、新しい登録情報の減少が課題となっている。 ・各種情報については、厳しい地域経済環境等から期待される利活用に至っていないことが課題となっている。
7. 新規・継続	新規取組み ・ <u>継続取組み</u> (開始年度 平成7年度)
8. 添付資料	
9. 備考	

地域密着型金融の取組み状況 (21年4月～22年3月)

(金融機関名 江差信用金庫)

1. 項目	3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 (2)地域活性化につながる多様なサービスの提供									
2. タイトル	・地域の利用者の利便性向上									
3. 動機(経緯)	・経営環境の変化や利用者サービスの多様化を見据え、利用者満足度の更なる向上に資するべく、以前実施した利用者満足度アンケート調査を経営方針に反映させた取組み。									
4. 取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・期間限定「傷害保険付定期積金」の発売(新規取扱)。 ・期間限定「年末定期預金」店頭金利に金利上乘せを実施(新規取扱)。 ・期間限定「退職金からの定期預金」店頭金利に金利上乘せを実施(新規取扱)。 ・期間限定特別枠「住宅ローン(5,7,10年固定金利型)」の金利引下げを実施(7,10年固定金利を追加)。 ・期間限定「マイカーローン」の金利引下げを実施。 ・期間限定「教育ローン」の金利引下げを実施。 ・しんきんカードローンの極度限度額を増額(既50万円から100万円)。 									
5. 成果(効果)	<p>【相手方にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間制限などがあるものの、新たなサービスを享受できる環境となった。 <p>【当金庫にとっての成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込実績などから一定の成果が認められる一方で、他金融機関との競争激化ならびに地域景況の低迷などから不振なローン種目も認められた。 ・傷害保険付定期積金は、募集枠8億円を消化。 <p>〈ローン種別〉〈目標件数・金額(百万円)〉〈実績件数・金額(百万円)〉</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">・住宅ローン</td> <td style="width: 35%;">106件・1,129</td> <td style="width: 35%;">62件・558</td> </tr> <tr> <td>・マイカーローン</td> <td>116件・162</td> <td>124件・179</td> </tr> <tr> <td>・教育ローン</td> <td>59件・73</td> <td>35件・43</td> </tr> </table>	・住宅ローン	106件・1,129	62件・558	・マイカーローン	116件・162	124件・179	・教育ローン	59件・73	35件・43
・住宅ローン	106件・1,129	62件・558								
・マイカーローン	116件・162	124件・179								
・教育ローン	59件・73	35件・43								
6. 22年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容の拡大から一定の評価を受け、利用の拡大に繋がっている。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様からの要望については、できる範囲で意向に副えるよう努めておりますが、今後はいかに利用者が求める、より質の高いサービスを企画提供していけるかが課題である。 									
7. 新規・継続	<p style="text-align: center;"> 新規取組み ・ 継続取組み (開始年度 平成16年度) </p> <p>※新規取組みは「4. 取組み内容」の上部3項目です。</p>									
8. 添付資料										
9. 備考										